

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

- 教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ講座
- 教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求するための講座（県教育センターの教育相談講座基礎と同等の資格を取得可能）
- 学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーの育成
- 小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取り組みを通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営を創造するために、引き続き財政的支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

心身に障がいがあるなど特別に支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラム等を含め、心身に障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーター

の資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員3名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。平成27年度は40名の養護補助員を23校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、平成27年度は21名の特別支援教育支援員を21校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全中学校に加え、今年度より公津の杜小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校12校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係小中学校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携を含めた効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第2次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を平成32年度までに30%となることを目指します。

そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」（低学年水泳指導）の充実のために、小学校11校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童生徒の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導（不審者対応訓練や

避難訓練の実施、交通安全教室の開催等)の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

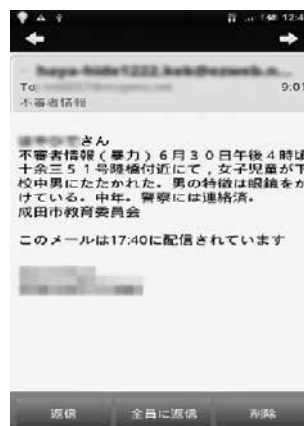
子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配付するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。

さらに成田市PTA連絡協議会からの「児童生徒の登下校の安全確保に関する要望書」や学校からの要望に対して関係課や関係機関との連携を図り、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組むとともに、通学路の安全確保に関する取り組みの方針として「成田市通学路交通安全プログラム」を策定します。



交通安全教室の様子



携帯電話へ不審者情報を配信します

(7) 情報教育の推進

学校教育のICT化を推進し、情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力等の情報リテラシーを育成するために、学校間情報ネットワークシステムの有効活用を図ります。

情報教育関連の各種の研修会については、パソコン室、電子黒板、大型テレビ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を図るなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

また、各学校が計画するICT研修会では、インストラクターを紹介するなどして、より専門的かつ充実した内容で研修が行われるよう学校の要望に応えます。

そのほか、タブレットなどの新しいICT機器の導入や活用方法の検討を進め、授業支援システム等の見直しも図っていきます。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取り組みの一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階的に実施します。

また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取り組みだけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、平成26年度よりチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置し、いじめに関する重大事態が発生した場合の対応等も行います。

(11) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、地域ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいきます。今年度は市内4校で実施し、検証のうえ拡充していきます。

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。

各教科道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。また、昨年度、「成田市心身障害児就学指導委員会」の名称を「成田市心身障害児教育支援委員会」と改めました。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年3回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

平成22年9月から、医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を配置しています。

(3) 教育相談

教育センターに1名の臨床心理士を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する学校を支援、児童生徒の様々な問題に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付

自分が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。

発行については、平成22年度から隔年発行しています。

(5) 情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのICT活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会を開催したり、各学校内での研修会の運営を支援し、パソコン教室、電子黒板、大型テレビ等の効果的な活用について、学校間で事例を報告し合い情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

3 教育支援センター

学校不適應等により登校できないでいる児童生徒の学校復帰を目指し、教育支援センターを充実します。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、7名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、「臨床心理士」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施します。さらに、ケース会議において、月1回教育支援センタースーパーバイザーの助言を受け、児童生徒の学校復帰を目指します。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 716人
学級数 26学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、職員・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。児童の基礎的・基本的な力の習得と、これまで培ってきた「コミュニケーション能力」を生かした学力の向上を図るため、全職員共通理解のもと指導していきます。また昨年度に引き続き、学力を側面から支える家庭学習の習慣作りにも、力を入れていきます。若い職員が多い学校ですが、授業の質の向上、教師と児童の関わりの中身の向上を目指し日々研鑽に励んでいます。

成田小学校の特色ある活動としては、参道に近いという立地条件を生かし、参道を訪れた外国からのお客様と英語を使ってコミュニケーションを図る参道活動があります。また、PTA活動も盛んで「成小フェスティバル(バザー)」や保護者と児童が協力して行う「エコ活動」を実施しています。古い町並みに見守られながら、成田小の子どもたちは元気に学校生活を送っています。



成田山参道での参道活動の様子



音楽集会の様子



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 61人
学級数 7学級

学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく すこやかに」

成田市南に位置し、成田国際空港に隣接した畑作を中心とした農家が点在する地域にあります。校地は三方を学校林「駒の森」に囲まれ貴重な里山の自然が大切に守られています。

本校では環境学習にカタクリの花、アカハライモリなどの動植物を生かし、豊かな学習活動を展開しています。保護者、地域の皆さんは学校教育への関心が高く、連携、協力して学校づくりに取り組んでいます。

また、「素敵な先輩シリーズ」と題して、地域や、本校出身の先輩の皆様に来ていただき、貴重な体験やお話をじかに子どもたちにさせていただいております。その大きな感動が、子どもたちの意欲につながっているように感じられます。今年度は、週に一度、司書による「読み聞かせ」か読書を時間割に位置づけ国語科の研究を中心に取り組んでいきます。



東小と統合して2年目、
今年の漢字は前に「進」む。



全校児童による「螺旋滑り台」を
使った避難訓練。



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 433人
学級数 18学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。成田国際空港に隣接しており、外国籍の児童が多く、日本語の特別指導を行っています。校庭の「大えのき」をシンボルとし、『自分を磨き、自分も他人も大切にする児童の育成』を教育目標に、わかる授業、楽しい教室、夢広がる学校を目指しています。親子レク、リサイクル活動及び高齢者と子どもたちとの交流会など、保護者や地域の方、高齢者の方との交流を積極的に実施しています。また、地域ボランティアの方と一緒に、挨拶運動も行っています。平成27年度の研究は『文章を正確に読み取り、自分の考えを表現できる児童の育成』を研究主題に据え、子どもたちの実態にあった国語科の授業に取り組みます。学校・家庭・地域が連携をとり、確かな学力・豊かな心を育む特色ある学校づくりを推進してまいります。



「オープンスクール (学年発表会)」
学年ごとに趣向を凝らした発表をします。



「なわとび集會」
縦割りグループで親睦を深めます。



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 316人
学級数 14学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かで たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲良し心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は2学級増の14学級となりました。保護者や地域の教育への理解や支援もあつく、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「昔遊び」、「米作り体験」、「職業人に学ぶ」など、地域人材を活用し豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。

本年度は算数科指導の研究を基軸として、基礎基本の確実な習得を図り、学んだことを自らの課題解決に活用する力の育成に取り組んでいきます。



災害発生時の現実的な対応を想定して、久住中生徒との合同防災訓練を行っています。



子供の読書活動を家庭で充実させることをテーマに、教育ミニ集を開きました。



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 61人
学級数 7学級

本校学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、南は根木名川に囲まれ、緑豊かな田園風景が広がった歴史的な文化や伝統を継承している地域です。祖父母や保護者のほとんどの方々が本校を母校とし、「ふれあい参観」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。

「やさしく、かしこく、元気な子」を学校教育目標として掲げ、小規模校のメリットを生かしたきめ細かな教育を推進して、一人一人が輝ける教育を目指しています。今年度は、算数科を中心とした研究を通して、基礎学力の向上に努めるとともに、児童の思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいます。本校の校訓でもある福沢諭吉翁由来の「独立自尊」を合言葉とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



「地区合同運動会」では児童・教職員・保護者・地域の方々が一体となって秋の運動会を楽しんでいます。



地域のお年寄りとお遊びを楽しむ子どもたち。



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 78人
学級数 7学級

成田市街の中心より北西へ約3km離れた場所に位置し、緑豊かな自然に恵まれた伝統ある学校です。地域住民は、学校への関心が非常に高く協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域社会との連携を重点目標に掲げ、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳びに取り組むとともに、縦割り活動や地域との交流、外部人材を活用した体験等、小規模学校のよさを生かした活動に取り組んでいます。

全校で運動を通したすこやかな体づくりを目指し、「遊・友スポーツランキングちば」に挑戦しています。昨年度は、2年生が「みんなでリレー」低学年の部で1位を獲得するなど、全学年が10位以内に入り、学校賞を頂きました。また、「早寝早起き朝ごはん」運動を推進し、文部科学大臣より表彰されました。



「遊・友スポーツランキングちば」に挑戦し、2年生が「みんなでリレー」低学年の部で1位を獲得しました。



「青少年綱引き大会」に出場し、選手の爽やかな行動と懸命に試合に参加する態度が認められ「特別賞」を頂きました。



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 132人
学級数 8学級

本校は創立143年目を迎え、「心豊かで、自ら学ぶ、たくましい児童の育成」を目標に、保護者や地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進しています。めざす児童像として、「思いやりのある子」「自分で考え進んで学ぶ子」「元気でがんばりのきく子」を掲げ、命を大切に、明るい挨拶ができ、基礎・基本をしっかりと身につけた子どもたちを育てようとしています。特に「あかるい あいさつ じぶんから さきにおうね 公津っ子」を合言葉とする「あじさい運動」に力を入れ、いつでもどこでも自分から進んで挨拶ができる子どもたちの育成に努めています。また、全校徒歩遠足（手つなぎ歩行会）や運動遊び（杉の子タイム）などの異学年交流（杉の子活動）や地域との交流を年間通して計画的に行い、思いやりの心や協働性・協調性を育てていきます。校内研究では、今年度から、児童一人一人の確かな学力の向上を目指し、国語科・算数科の研究に取り組んでいきます。



運動遊び（杉の子タイム）にて



「5年英会話体験」ラディソンホテルにて



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 308人
学級数 15学級

成田空港の開港に伴い、本市中央部に造成された成田ニュータウンの中に一番最初に開校した小学校であり、今年で創立44年目を迎えます。中台3・4・6丁目を学区とし、学校の近くには公園が点在して緑道も多く緑豊かな地域です。

保護者の学校教育への関心はきわめて高く、学習支援や読書ボランティア活動など大変協力的です。学校教育目標の合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」を基に、全校児童による栽培活動（通年）、全校集会での歌、毎週月曜日の登校時のあいさつ運動に取り組んでいます。

また、課外活動が盛んで、陸上練習・ミニバスケットボール練習・つなひき練習・金管練習などがあります。さらに、ニュータウンあおぞら会との交流会・生涯学習大学院の方々と1年生の昔遊びを通じた交流会・地域の方とふれあひながらの福祉活動など「地域と共に歩む学校」をめざしています。



「笑顔いっぱい」
成田山表参道での交流活動では、外国人と笑顔で会話をします。



「歌声いっぱい」
歌声集会では、保護者や地域の方々に歌声を披露します。



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 726人
学級数 25学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、726名の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。「《夢を持ち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで健康な子どもを育てる」の教育目標のもとに、学校・保護者・地域で児童を育てる環境づくりを進めています。また、今年度の経営重点を、「特別支援の充実を図り、一人一人に合ったいねいな支援を進める。」と定め、一人一人に合ったいねいな指導を心掛けています。平成25年度から千葉県小中学校体育連盟印旛支部及び成田市教育委員会の指定を受け、平成26年度には、体育科公開研究会を行いました。また、PTA組織とは別の組織である「加良部小おやじの会」が存在しており、青少年健全育成の観点から児童及び学校環境への支援を率先して行っています。



全校なかよし遠足・・異学年でペアを組み活動しました。



スナッグゴルフ校内予選・・千葉県大会の選手選考会を行いました。



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 237人
学級数 10学級

昭和50年に成田ニュータウンの南端にニュータウン第3の小学校として開校した本校は、橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境にあり、特に碧い芝生と200mトラックのある広いグラウンドが自慢です。『大きく 豊かに たくましく 生きる子どもの育成 -夢をかなえるための土台づくり-』を学校教育目標に、①「確かな学力」の育成 ②基本的人権の尊重 ③特別支援教育の充実 ④地域の教育資源及び学校評価の活用 ⑤清潔で美しい環境づくり を経営の重点としています。本年度は研究テーマを「読んで 書く力」を育てる国語科学習指導のあり方 ～言語活動の充実をめざして～とし、「よく考え、進んで学ぶ子」の育成に努めます。また、小中連携教育を推進しており、吾妻中学校区3校の児童・生徒、職員、PTAが、それぞれ連携及び交流を進めています。地域との連携も密接であり、各種の地域行事に多数の児童が参加をしたり、学校行事に地域の方に来ていただいたりしています。特に地域で開催される敬老会には金管部が招かれ、好評を頂いております。



敬老会での金管部の演奏



なんでも自慢発表会



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 219人
学級数 11学級

成田ニュータウンの東南東に位置し、緑豊かな環境に恵まれ、四季折々の草花や樹木の間から、毎日元気な子どもたちの声が響き渡っている本校は、創立39年目を迎えます。

ワクワク ドキドキする学校「心豊かに、たくましく生きる、夢のある児童の育成」を学校目標に掲げ、全校児童による縦割り活動である「すすく班活動」や自然体験活動、地域の人材を活用した様々なふれあい活動、ボランティア活動等を通して、「明日行くのが楽しみ」と思えるような学校・心身ともに健全な児童の育成を目指し、全職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

算数科の研究は4年目を迎え、発達の段階に応じた算数的活動を生かした授業づくりをめざしています。日々の教材・授業研究・生徒指導等の研鑽を積み、特別支援教育支援員や少人数学習推進教員と連携し、一人一人にきめ細かな個に応じた指導をすることで、確かな学力の育成に努めています。



保護者と一緒に活動した全校美化活動



一生懸命に走ったマラソン記録会



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 708人
学級数 24学級

本校は、成田ニュータウンの北西部にあり、成田空港開港と同時に誕生して創立38年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。

本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子 (徳育)」「自ら学びとる子 (知育)」「健康でたくましい子 (体育)」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、数学的思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、ゲストティーチャーとして様々な業種の方をお迎えするキャリア教育ワークショップ「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取り組みをしています。また、子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



「1年生の交通安全教室」
命を守るため安全な道路の横断を教えてくださいました。



「昔遊び体験学習」
地域の方々をお招きして教えてくださいました。



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 339人
学級数 15学級

本校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

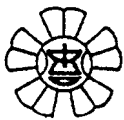
本校は教育目標「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでいます。今年度のスローガンは「『チーム玉造』(切磋琢磨の教職員集団)で、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する」です。「玉造小スタンダード」を核とした学習のしつけや家庭学習の習慣化、ドリルタイムや月例テストでの基礎基本の定着などに加え、言語活動の充実を図ることで児童の言葉にする力を育みます。また、情緒の通級指導教室「スマイル教室」を核として、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図ります。児童が自分や友達を知り、認め、自他共に大切にする力の育成に取り組んでいます。



スマイル教室 (通級指導教室)



ドリルタイム



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 157人
学級数 8学級

本校は本年度創立34年目となります。本年度の学校教育目標「かしこい子どもの育成」の具現化として「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活をめざし、保護者からも信頼される教職員であることに努めます。

一昨年度から3年間「福祉教育の充実」に取り組んでいます。中台地区の社会福祉協議会の協力のもと、小・中・高連携の福祉教育はどうあるべきかを追究しています。

本校を取り巻く環境は整っており、保護者・地域の方々の教育的な関心も高く、活発なPTA活動がなされ、防犯パトロールや読み聞かせのボランティアの皆さんからもお力添えをいただいています。このような中で、花や緑いっぱいの学校、朝はグラウンドで陸上の練習、校舎からはブラスバンドの音が鳴り響き、笑顔と元気なあいさつが交わされ、授業に集中する姿が見られる学校をめざします。



伝統の運動会でのマーチングバンド



地域をあげてのあいさつ運動



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 219人
学級数 11学級

創立30周年を迎えた本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりをめざして「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校の先生や生徒によるおもしろ実験教室や、綱引き練習などの交流を行ったり、地域の学習ボランティアによる学習会「神宮寺小寺子屋」を毎朝開催したりなど、学校、家庭、地域との交流が盛んです。このような地域環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもと、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい」の神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



「全校遠足」
5月に縦割り班で、楽しくレクをしながら1年生を迎え入れています。



「百人一首大会」
1月に学年を越えたグループで、百人一首大会を行っています。



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 523人
学級数 20学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく人づくりをめざして ～知・徳・体の調和～」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、ミニバス、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢希望を抱きつつ、健全に成長するために地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度6年目）が推進されています。



毎日行う運動部の朝練習



6年生は長野県戸狩で自然体験学習



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 328人
学級数 15学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いがこめられて付けられたといわれています。学区住民は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。『夢と希望を笑顔で語る子どもたち』を合言葉に、一人ひとりの児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく 心豊かな子どもの育成」に努めています。

今年度は、(1)心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践(2)具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実(3)体力向上と基本的生活習慣の定着を重点事項として取り組んでいます。また、「さつまいも苗植え」「昔の遊び」「かるた大会」等の活動を通し、人間関係づくりを図るとともに、地域の人材を活用した体験的活動も取り入れて、思いやりにあふれた豊かな心の育成に力を入れています。更に学力向上策の一環として、始業前に本城小寺子屋(まきゼミ)を開設し、地域の方と共に基礎・基本の定着を図っています。



「かるた大会」全校縦割り班対抗(なかよし班)によるかるた大会では、毎年大いに盛り上がっています。



「昔遊び」1年生は、地域の敬老会の方々から、けん玉、あやとり、竹馬などの昔の遊びを教えて頂きました。



成田市立大須賀小学校
(創立 明治41年)

児童数 62人
学級数 7学級

本年度、本校は学校教育目標を「未来を切り開く 心豊かで かしこく たくましい児童の育成」と設定しました。学校経営の重点を1、「確かな学力の向上」2、「豊かな心を育む教育活動の推進」3、「体力の向上と健康・安全教育の推進」4、「生きる力を育む生徒指導・教育相談活動の推進」5、「地域とともに歩む学校の推進」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」をめざして全校一丸となって取り組んでいます。本校学区は伊能、奈土地区を中心に9つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には歴史ある神社仏閣が点在しています。毎年4月中旬に行われる大須賀大神祭礼においては、本校の児童、保護者、地域住民が一体となり、地域の伝統文化を学校と連携しながら継承しようとする体制が構築されています。

本校は平成26・27年度、県教育委員会から「地域における食育指導推進事業拠点校」に指定されており、食教育にも意欲的に取り組んでいます。



地域の皆さんと取り組むグラウンドゴルフ教室



全校で取り組むたてわり交流活動



成田市立桜田小学校
(創立 昭和32年)

児童数 114人
学級数 8学級

本校は成田市の東端に位置し、大栄インターの近く国道51号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。印旛郡内公立小学校では唯一制服のある学校です。本校では「心の美しい たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。

4年生から6年生は、毎日運動部や合唱部の課外練習に参加しています。昨年度は運動能力証の受賞率が市内でも上位で、合唱では初めて郡の音楽発表会に出場することができました。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携によるグラウンドゴルフ、注連縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。

本年度も体育科の授業研究に力をいれ、「桜田モデル」の構築と、運動の楽しさや喜びを味わえるよう自ら考えたり工夫したりする力の育成を目指して研究を推進しています。



「運動会鼓笛パレード」
児童数も減少し今年度が最後です。



「特別養護老人ホーム『有楽苑』交流」
1年生による合唱の披露です。



成田市立前林小学校
(創立 明治8年)

児童数 61人
学級数 8学級

本校は、県道成田・小見川・鹿島港線沿線に位置し、学区の戸数は約450戸、大栄地区の中でも古村と言われる農村地帯であり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あららぎ」があります。正式名を広葉杉（こうようざん）というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史と共に子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。

本校の教育目標は「夢をもち 心豊かに学ぶ 実践力のある人づくりをめざして 一かしく・やさしく・たくましく」です。特色ある教育としては、地域の施設や人材を生かした特別養護老人ホーム有楽苑、障害者施設アーアンドデイだいえいとの交流やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。

また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。



芋掘り体験活動
(大きな芋がたくさんとれました。)



餅つき大会
(縦割り班で全員が餅つきをしました。)



成田市立津富浦小学校
(創立 明治6年)

児童数 120人
学級数 8学級

学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、国語を研究教科として位置づけ、朝の読書タイムや漢字・計算のチャレンジテスト、学習規律の徹底、算数科を中心としたTT授業等、学力向上に向けた取り組みに力を入れています。

また、児童会を中心とした集会や縦割り班活動、全校マラソン大会や縄跳び大会、国際交流活動等、児童が活躍できる場をできるだけ多く設定し、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めています。地域との交流も盛んで、学校支援ボランティアを活用した朝の読み聞かせや各教科・特別活動等における体験活動、社会福祉協議会の方の協力によるグラウンドゴルフ大会やしめ縄作りは、毎年児童も楽しみにしています。防犯対策として、保護者はパトロール組織「さざんか会」をつくり朝夕パトロールを実施して、児童の登下校を見守っています。校庭にはクヌギの大樹があり、「つぼうらくぬぎ」と呼んで大切にしています。



学校支援ボランティアの方による朝の読み聞かせ



地域の社会福祉協議会の方とのグラウンドゴルフ交流会



成田市立川上小学校
(創立 昭和32年)

児童数 133人
学級数 8学級

本校の学区は成田市の東部に位置し、成田国際空港の第2滑走路の東側になります。多良貝・川上・吉岡第二・吉岡第三・新田・一坪田・にっぽり・水の上の8地区からなり、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。空港の発展とともに畑作中心の農業地域から、工場や物流倉庫が増えるなど地域社会が大きく変貌しています。本校では、学校教育目標「明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成(ともに

前進!かがやきっ子)」を達成するために、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導に心がけ、調和の取れた人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイムの充実、特別支援教育・生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会、餅つき大会、昔の遊びなどの地域との交流を深める行事を実施するなど、地域の皆さんとともに歩む学校づくりをしています。



大運動会
～全校一丸となって取り組む鼓笛隊～



竹馬大会
～よーいドンで競走だ!～



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 791人
学級数 26学級

開校10年目となる本校は、学校教育目標に『未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成』を掲げています。目指す児童像として「自分をみがく子（自立）」「自分も他人も大切にする子（共生）」を位置づけ、全職員が一丸となって、地域に信頼される学校づくりを目指しています。

本校は昨年度、ユネスコスクールの認定を受けました。引き続き今年度もESD教育の実践研究を行っていきます。「今、そして未来を考える子 ユネスコスクールの推進をとおして」を研究テーマに、次世代を担う子どもたちに日々の学習の中で、「未来の社会はどうあるべきか」「よりよくするためには、今どうしたらよいか」をしっかりと考えさせています。今年度は特に、『「つながり」を大切にした教育』を実践していきいます。「人」をつなぐ、「まわり」をつなぐ、「時間」をつなぐの3つの「つながり」を特に大切にすることで、持続可能な発展のための教育を具現化していきたいと考えます。



ユネスコ集会のようす
～成田ユネスコ協会から認定プレートの授与～



国際交流活動のようす
～英語によるコミュニケーションを通して世界がつながる～



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 346人
学級数 14学級

本校では、「かしこく・やさしく・たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標に掲げ、力いっぱい学ぶ子、思いやりがあり助け合う子、丈夫で、がんばり抜く子の育成に努めています。「かしこく」では、ドリルタイムを設け、学習の基盤となる「読み、書き、計算」の学力の定着を図るとともに、体験的な学習をする機会を増やし、問題解決的な学習を推進しています。「やさしく」では、年間を通じて、あいさつ運動や縦割り活動、親切運動に取り組み、豊かな人間関係づくりに努めています。「たくましく」では、体育科の授業を充実させるとともに、30分間の昼休みの中で、外遊びを奨励し、体力の向上を図っています。また、週に1回ロング昼休みを設け、児童が思いっきり遊ぶ時間を設けています。地域の田を借りての米づくり体験や福祉体験、昔遊び活動で、地域の方々との交流を深めています。



米づくり体験



昔遊び活動



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 532人
学級数 19学級

「豊かな心を持ち、正しい判断力、実践力をもつたくましい生徒の育成～自立と共生を目指して～」を学校教育目標に掲げ、成田市内で最も歴史のある中学校として伝統を継承しつつ、生徒会を中心に生徒活動の充実と学力の向上に取り組んでいます。美術の授業の一環として成田山新勝寺の境内の写生会やボランティア活動として太鼓祭り、弦祭りに参加して郷土を愛する気持ちを育てています。生徒会は、「進化する成中 ～服装・態度・いじめ0～」を掲げ、主体的に生徒自らより生活しやすい学校環境にしようと各委員会が活動しています。授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った授業の手立てや約束事を徹底し、学力向上に取り組んでいます。上記を中心に生徒の良さや頑張りをしっかりと認め、勇気づける取り組みを継続するとともに、一人一人の生徒を職員全員で見守り、指導していく体制を構築しています。



生徒会主催の「いじめゼロ」集会

いじめ撲滅宣言

1. 私たち成中生は、いじめや差別を絶対に許しません！
2. 私たち成中生は、思いやりの心を持って、お互いを尊重し合いながら行動します！
3. 私たち成中生は、正しいことを正しいと言える勇気を持ちます！
4. 私たち成中生は、協力・信頼し合える仲間を作ります！
5. 私たち成中生は、みんなが仲良く楽しく過ごせる仲間を作ります！

生徒全員で採択した、生徒がつくった「いじめ撲滅宣言」



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 359人
学級数 15学級

本校は、成田国際空港に最も近い中学校です。また、学校周辺は、昔からの純農村地帯と振興住宅地域とが融合した地域です。学区が広範囲であり、9割以上の生徒が自転車で通学しています。交通事故が懸念されるため、交通安全教室や自転車点検等に学校全体で取り組み、事故の未然防止に努めています。また、開かれた学校づくりに努め、各学期毎に学校公開日を定め、授業や行事の参観を通して、生徒の成長を見守っていただいています。秋には体育祭、合唱コンクール、年度末の予餞会など生徒にとって充実した行事が続きます。遠山中学区の小学校3校と連携し、生徒指導研修会、ブロック研修会、相互授業参観等を行い、日頃の教育活動に生かしています。また、生徒会活動では「成田いちあったかい学校を創ろう」を合言葉に生徒の自主的活動を推進し、チャレンジ精神を育み、夢の実現に向けて教職員が支援をしています。



体育祭の全校演技「ソーラン節」のフィニッシュ



歌うことが好きな有志の集まり「歌い隊」の発表風景



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 74人
学級数 5学級

学区は成田市中央部に位置し、その西部に水田地帯、東部に畑作地帯が広がっています。兼業農家が多く、大部分は三世代家族です。学区が広いため、ほとんどの生徒が自転車通学者です。印旛地区の中学校では1～2番目に生徒数の少ない小規模校ですが、久住駅前の宅地開発に伴い、今後、生徒数の増加が見込まれます。また、23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、今まで以上に小中連携の強化に努めています。

本校は、『小規模校の特性を生かし、全教育活動を通して個を生かすことに徹する』を重点目標に、下記の3点を柱に特色ある学校づくりを進めています。

1. 個に応じた学習や補充的な学習、少人数学習、体験学習などのきめ細かな指導を通して、基礎・基本の徹底を図る。
2. 総合的な学習の時間の充実で、主体的に活動する能力の育成を図る。
3. 「職場訪問」、「職場体験」などを通して地域愛を育て、自らの生き方を考えられる生徒を育てる。



1年生のマナー講座の写真



「総合的な学習の時間」の『伝承芸能』
受講者による「久住フェスタ」での発表



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 651人
学級数 22学級

西中学校は白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと『文武両道 熱き西中魂』『一生懸命がかっこいい』をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。分離後の西中は徐々に生徒数が増え、本年度は全校で651名となりました。

学習面では「学力の向上」を目標に、国語、数学、英語を中心に、10分間のドリルタイムを毎日位置づけています。また、1年の英語科で少人数学習、全学年の数学でTTでの授業を行っています。部活動については積極的に取り組む生徒が多いため、教育課程を工夫し、年間を通して活動の時間に配慮しています。学校と家庭との連携については、より親密な関係を構築するために家庭訪問を実施(5月)したり、PTA主催で教師と保護者の語らいの場「西中の夕べ」を行ったり(8月)しています。本年度も本校の教育目標である「たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」の具現化に向け、地域・家庭・学校が一体となった教育活動をさらに推進して参ります。



福祉体験学習では、社会福祉協議会の方に講師になっていただき、車いす体験などをしました。



テスト前には放課後学習教室があり、自由参加ですが、たくさんの生徒が参加しています。



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 286人
学級数 11学級

本校の生徒は、成田ニュータウンの4つの小学校区（向台・加良部・新山・中台小学校）から通学しています。自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる生徒の育成をめざし日々教育活動に取り組んでいます。本年度は92名の新入生を迎え、全校生徒286名が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。学習の面では、26年度英語検定で学校が団体で優秀賞を受賞。また、漢字検定等の受検者も増加しました。学校行事へ積極的に取り組む姿がみられ体育祭、けやき祭などの行事では達成感が得られています。また、福祉教育にも熱を入れ、中台小・向台小・成田国際高校と中台地区社会福祉協議会と連携し、ペットボトルキャップ収集やあいさつ運動、敬老会への参加や街頭募金活動に取り組んでいます。生徒数が減少する中、部活動でも活躍する生徒が多く、県大会や関東大会に出場した部活動もあります。明るく活動的な本校の生徒たちは、自分の目標に向かって毎日の努力を大切に、すばらしい成果を上げています。



ボランティア活動に積極的に取り組む生徒



「あいさつ ふれあい おもいやり」の精神であいさつ運動に取り組む



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 228人
学級数 10学級

本校は成田ニュータウン地区の東に昭和53年、開校しました。学区は橋台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部からなります。空港関連業種を中心に全国からの転入者が多く、開校から38年を迎えます。緑多く、自然環境に恵まれ、春には校地を取り囲む100本をこえる八重桜が美しい花を咲かせます。「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」を学校目標とし、環境教育や国際理解教育にも力が入れています。さらに学校には、「挨拶は自分と他との心の扉を開きます」「清掃は環境と自分を美しくします」「時間厳守は自分と他の信頼を結びます」の3つの約束があります。昨年度から、中学校と学区の小学校が、義務教育9年間を通して生活面や学習面について連携していく学区小中学校連携がスタートしました。中学校の先生が小学校で授業をしたり、生徒代表が小学校で学校説明会を行い、小学生は、中学校の学校行事に参加したりするなどの交流を行っています。



美しい歌声が、ホールいっぱいに響く合唱コンクール



地域の事業所で職場体験学習



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 279人
学級数 11学級

本校は昨年度創立30周年を迎え、小泉市長をはじめ多くの卒業生や地域の方々に参加していただき、記念式典を行いました。入学してくる生徒は、玉造小、神宮寺小、八生小の3校で、玉造小及び神宮寺小出身者が9割を占めています。現在は3校とも小規模校となっていますが、入学後は互いによく交流しあっています。現在学校では「当たり前前の方が当たり前前ができる」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指し、主に次の事柄に取り組んでいます。

- ・基礎・基本的学習内容の定着をより図るため、ボーナス・スタディ・タイムを展開しています。
- ・基礎基本の定着を目指し、TTや少人数指導を推進しています。
- ・本に親しみ、視野を広げ学習意欲を高めるために、朝の読書に取り組んでいます。
- ・ボランティア活動など、地域の活動に積極的に参加しています。



本校OB 落語家 三遊亭金朝師匠による
記念公演



地域敬老会でのボランティア活動



成田市立大栄中学校
(創立 昭和58年)

生徒数 259人
学級数 11学級

本校は、成田市の東部に位置しており、学区の中央に大須賀川が流れ、畑作地帯が水田を取り巻くような自然豊かな環境にあります。学区は大須賀・桜田・前林・津富浦・川上の5つからなっており、通学範囲が広範囲なため、多くの生徒が自転車通学をしています。学校経営理念を「人としての生き方を大切にする教育」と定め、今年度、新たに学校教育目標を「確かな学力 豊かな感性 強い体をもち、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」として、教育活動を展開しています。重点目標として「確かな学力の向上」「豊かな感性を育む教育の充実」「体力向上・健康安全教育の充実」をめざした教育活動を推進すると共に、「小学校との連携を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実」をめざし、大栄地区小中連携推進協議会で定めた『みんなの約束』の達成に取り組めます。また、『一生懸命 日本一』をスローガンとして、生徒一人ひとりが、何事にも一生懸命に取り組むことのできる学校づくりを推進します。



自転車安全教室のようす



体育祭の応援合戦のようす



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 543人
学級数 18学級

公津の杜中学校自慢の、紺色マイクロチェックの制服に全校生徒が身を包み、開校3年目の公津の杜中学校がスタートしました。西中学校から分離して3年目、ついに生粋の公津の杜中生が揃ったわけです。今年度の3年生は、この学校で3年間を過ごして卒業していくことになります。心の底から、公津の杜中学校に誇りを持って卒業していくことになることなのでしょう。今年度は、節目の1年間になりそうです。本校には、新時代の教育の場にふさわしい最新の施設・設備が整えられています。この夢と希望に満ちた様々な工夫がされている校舎で学校生活を送る生徒達は、自分達の手で新たな歴史と伝統を作ろうと、目を輝かせ前向きに学校生活を送っています。整然とした朝読書から一日が始まり、授業に落ち着いて取り組み、清掃活動を頑張る生徒の姿が、公津の杜中学校にはあります。そして、創部3年目となる各部活動も軌道に乗り始め、チームワークを大切に、目標に向けて日々練習に励んでいるところです。



入学式では、代表生徒が「信頼し合える仲間を作り、感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごします。」と、誓いの言葉を述べました。



クラス替えをしても、心機一転、積極的に授業に取り組む2年生の様子(2年生の数学の授業の様子から)



小中一貫教育校 下総みどり学園
【成田市立下総小学校、成田市立下総中学校】
(創立 平成26年)

児童生徒数 399人
学級数 23学級

本校は、昨年4月に、施設一体型の小中一貫教育校として誕生しました。義務教育9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、9年間を、前期(1~4学年)、中期(5~7学年)、後期(8・9学年)の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っております。卒業式・体育祭・文化祭など多くの行事は全校で取り組んでいます。また、毎日の清掃活動も縦割り班で行うなど、多くの教育活動の中で異学年交流を図り、上級生は自己有用感を養い、下級生は高い目標をもって生活する様子が見られます。これからも下総地区唯一の義務教育学校として、地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる子どもの育成を行います。



図書委員会による読み聞かせ活動



体育祭(1年から9年まで揃って入場)

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 155人
学級数 6学級

本園は、成田市東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター・ナスパスタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用したり、緑豊かな自然との触れ合いを大切にされた保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友だちとなかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。

昨年度から3歳児保育が始まりました。今年度は、3歳児2クラス47名、4歳児2クラス9名、5歳児2クラス2名、58名の新入園児を迎え6クラス155名でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



『じゃがいも掘り』「大きくなったかな!？」カー杯で掘っているジャガイモ、「何ができるかな!？」後日、料理をすることを楽しみにしています。



『砂遊び』園児同士協力しての砂遊びです。汚れることも気にせず、集中して活動しています。

5 学校給食センター

学校給食は、教育活動の一環として定着し、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場にて給食を調理しています。

(1) 給食指導の充実



栄養士による食の指導

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や、望ましい食習慣が身に付くよう給食指導を充実します。

また、子どもを生活習慣病から守るため、家庭に対して、毎朝きちんと朝食をとり、脂肪や塩分をおさえた食事をし、野菜などで食物繊維をしっかりとることなどの指導にも努めます。

(2) 献立の充実

イ. 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう改善に努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で供食できるよう、十分な配慮を行います。

ロ. 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるよう食品の組み合わせや調理方法に努めます。

ハ. 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

二. 成田産食材の使用として、主食となる米飯はすべて成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、栄養管理、衛生管理及び指導面の充実に努めています。

また、保健所の指導協力のもとに職員の健康診断等を行うとともに、施設設備の点検、整理、整頓に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準（文部科学省）

区 分	基 準 値			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エネルギー（kcal）	530	640	750	820
たんぱく質（g）	20	24	28	30
脂 質（g）	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 質（％）	学校給食による摂取エネルギー全体の25％から30％			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム（mg）	300	350	400	450
鉄（mg）	2	3	4	4
ビタミンA（μg RE）	150	170	200	300
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	20	25	35
食物繊維（g）	4	5	6	6.5

- 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。
 マグネシウム……児童（6歳～7歳）70mg、児童（8歳～9歳）80mg、
 児童（10歳～11歳）110mg、生徒（12歳～14歳）140mg
 亜 鉛……児童（6歳～7歳）2mg、児童（8歳～9歳）2mg、
 児童（10歳～11歳）3mg、生徒（12歳～14歳）3mg
- この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※1 範 囲 示した値の内に納めることが望ましい範囲

（4）食材の放射能対策

食材の放射能対策につきましては、今後も生鮮食材を中心とする調理前の食材のサンプリング検査を実施してまいります。なお測定結果につきましては、毎月配布する献立表の裏面に掲載するとともに、ホームページにて随時公表していきます。



食品放射能測定器（玉造分所）

食品衛生法に基づく放射性セシウムの規制値（Cs-134 と Cs-137 の合計値）	
飲 料 水	10
牛 乳	50
一 般 食 品	100
乳 児 用 食 品	50

（単位：ベクレル /Kg）

(5) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度において施設整備基本計画を、平成22年度において施設整備実施計画を策定しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び、食育の推進が可能となる、親子方式（※2）により施設の整備を進めています。

平成26年4月には、親子方式による2番目の施設となる本城小学校学校給食共同調理場の運用が開始されました。

本年度は、公津の杜小学校学校給食共同調理場の建設工事を行うとともに、美郷台小学校学校給食共同調理場の実施設計を行います。

※2 敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式



本城小学校学校給食共同調理場